

地 元 密 着 通 信

各地区通信員のみなさんから届いた地元のできごとを紹介します！



Jimoto mitchaku
tsushin

あなたの地区ではどんなできごとがあったでしょう。ぜひチェックしてみてください！

通学路を彩る花々

小 神自治会

三浦 やい子 通信員



小 神字山王地区のおよそ100メートルにおよぶ路肩に、高木

勝衛さんが、数年前から花を植え続け、行き交う人々の目を楽しませてくれています。趣味と運動を兼ねて始めたこの事です。毎年この時期には、芝桜が見事に咲き誇っています。

富田小学校の通学路でもあり、登下校の児童たちを見守っているかのように咲く綺麗な花たちはとても綺麗でした。

今年は何年とは少し様子が異なり、そこに、児童たちの姿はありませんが、小神地区の皆さんや車で通る皆さんの気持ちを明るくしてくれています。



色とりどりの綺麗な花ですね。



館ノ山整備活動

仁 井町自治会

菅野 喜好 通信員



古 関裕而が好んで登った館ノ山の整備活動を行いました。

地域の方から、昔は仁井町から館ノ山に登れたとの話があり調査し検討した結果、館ノ越ルートとなりました。

道幅約1メートルで下草を刈り払いしました。大木になった山桜も多くあります。途中で昼食のおにぎりを食べましたが、新緑の景色もあり格別なおいしさでした。今回のルートは、仁井町館ノ越「大津ざる菊園」の脇を通り、急

斜面の場面もありますが、二の丸よりは小さい平らな場所もあります。登りきると本丸の直下に出ます。今後でも下草の刈り払い整備を行う予定です。



皆さんご苦労様でした。

可憐なイワウチワ咲いてたよ！

飯 坂自治会

佐藤 秀夫 通信員



イ ワウチワとは、緑に白い脈の葉っぱから茎が伸び、花びらの

先がギザギザで真ん中に白い雄しべ、咲き始めはうすいピンク色の花の事です。

放鹿神社の右手から登山道に20分程度で姥神様底から少し上り座禅岩の後ろ側に3か所の群落が広がっており、可憐で清楚な花でした。

また、花塚山は女人禁制の山で、恋しい公家を訪ねてきていることを知らせるため、鹿を山に向けて放したことから放鹿山といわれるようになりました。皆さんもぜひ、一度見学にいらしてみてください。



この日の登山者20名は、イワウチワを楽しんでいました。

—お詫びと訂正—

広報かわまた6月号9ページ、地元密着通信・山木屋地区自治会の記事の8行目「屋外」が「屋内」でした。深くお詫びして訂正いたします。

宮

赤自治会

丹野 早苗 通信員



サロンの再開

開

催を見合わせていた春日ゆゆうサロンは、緊急事態宣言解除を受け、5月27日から介護予防体操を再開しました。

参加者は、健康チェックと手指消毒のあと、三密に気を付けながら身体をほぐしました。

ステイホームの影響により、鈍っていた身体もサロンの仲間との再会で、心も身体もリフレッシュできたようです。

この日は花いっぱい運動の看板づくり等、定植に向けての準備もしました。新生活様式にマッチしたサロン、ぜひご参加ください。



久しぶりの再会で皆さん嬉しそうでした。

小

綱木地区自治会

斎藤 吉紀 通信員



公民館長が交代しました

令

和2年4月、3期6年務めて頂いた五十嵐文男さんに代わり、清野賢一さんが新館長に就任しました。

新館長の清野さんからは「小綱木地区の皆さん、そして川俣町の皆さん、今年度から就任した清野です。微力ながら公民館活動に尽力したい所存でございます。地区の皆さんよろしくお願います」そして、旧館長の五十嵐さんからは「地区の皆さん、この度退任致しました、在任中は皆様の多大なるご協力を頂き、ありがとうございます。皆様のご健勝をお祈りいたします」とお2人からお話をいただきました。



五十嵐さん(左)、6年間お疲れまでした。そして清野さん(右)、これからよろしくお願いします。

福

沢自治会

菅野 奈美子 通信員



福沢羽山の山つつじ

ま

ばゆい朱赤色の山つつじは、『川俣町の花』で、融和と協調を表現、花期が長く、強さが感じられます。花言葉は『燃える思い、努力』だそうです。

例年山開きで、福沢羽山に登っていましたが、今年は新型コロナウイルス感染症予防対策により、オープニングイベントが中止になりました。頂上には山つつじの群生地があり、今年も見事に咲いていました。

日吉神社側からの登山道もあり、「湧き水は目の病に効能があると言われ、遠くから水汲みに来る人もいない」と地元の方から話を伺いました。



山つつじは8分咲き、山桜も咲いていました。登山することは可能です。

中

丁自治会

三浦 雅次 通信員



青銅製大日如来坐像の案内板

川

俣町指定重要文化財の大日如来坐像の案内板が、教育委員会と文化財保護委員会によりお堂の正面に設置されました。

近年は、文化財に関心が高まり、町内外からの見学者が多くなっていますので、仏像の歴史や変遷がわかり価値が上がるのではと喜んでいきます。今年は来月8日が祭礼の予定でしたが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止になりました。ただし、大日様は昔から羊・申年の守り本尊として厚く信仰されてきましたので当日の午後からお堂を開放します。お気軽に見学ご参拝ください。



管理者は中丁委員会です。問い合わせは事務局 (565-2108) 三浦まで